

宇宙ポスターコンテスト in ハワイ島

～ハワイらしい世界天文年ポスターを作ろう～

臼田・佐藤 功美子（国立天文台ハワイ観測所）

1. 地域参加型の世界天文年企画

著者がリーダーとなって進めた世界天文年 (IYA) ハワイ企画の一つ、天文学トレーディングカードを前ページでご紹介しました。トレーディングカードは構想から一年以上かけ、マウナケア天文台群普及委員会 (MKOOC = Mauna Kea Observatories Outreach Committee) [1] の予算で作りましたが、それに対してポスターコンテストは、著者の突然の思いつきで、予算ゼロの状態から立ち上げ、色々な方の協力と「持ち寄り」のもとで実施することができた企画です。

地元の人が積極的に参加できる IYA 企画を主催したい、また、地元の人が親しみの持てる、ハワイらしい IYA のデザインが欲しい、という 2 点をあわせて、小中高校生対象のポスターコンテストを思いつきました。ハワイ独自の IYA ポスターを地元の子供達に作ってもらおう、というわけです。

しかし、予算もノウハウもありません。ハワイ島で地域に根ざしたスーパーマーケット、KTA Superstores (以下 KTA) の協力を得られないかと考えました。KTA は教育に力を入れているようで、学校や科学館を支援したり、子供達を対象としたポスターや詩のコンテストを行ったりしています。KTA の支援を受けたことのある、イミロア天文センター (ʻImiloa Astronomy Center of Hawaiʻi) の方をお願いして、KTA の担当者を紹介していただきました。

2. コンテストの方式と審査員

「宇宙・解き明かすのはあなた」というテーマのもと、ポスターに夜空・望遠鏡などの

天文のテーマと、ハワイのテーマの両方を含めることを条件としました。この条件でポスターを描かせたかった委員長（著者）の意図は、「ハワイ独自の IYA ポスターを作ろう」以外に、実はもう一つありました。天文学者も、ポリネシアから航海でやってきたハワイの人々も、共に自然を観察し敬い、そして未知への探求心・冒険心を持っています。ポスターを描いた子供達が、このことに気付いてくれればと思っていたのですが、そこまでの意図を汲み取ってくれた応募者が何人いたかは定かではありません。

詳細な方式は、以下の様に決めました。

(1) 三つの地区

ハワイ島を、ヒロを含む東地区、ワイメアを含む北地区、コナを含む西地区の三つの地区にわけると。ポスターの受取り、集計は各地区の KTA が行う。

(2) 年齢別三つの部門

キンダーガーデン (K 年生 = 小学校 0 年生) から 12 年生 (高校 4 年生) までの 13 学年を K～5、6～8、9～12 年生の三部門にわけると。

(3) 審査方法と審査員

三地区、三部門でそれぞれ地区審査を行い、1 位と 2 位を選出する。入賞者の作品は、島全体での最終選考に進む。最終選考も、三部門でそれぞれ 1 位と 2 位を決定する。

地区審査は天文審査員と KTA 審査員で行う。最終選考は、コナの郊外にあるギャラクシー・ガーデン [2][3] の Jon Lomberg 氏 [4] をお願いした。彼は故 Carl Sagan 氏と一緒に仕事をしていたスペース・アーティストで、天文学とアートの両方に精通しており、ポスターコンテストの主旨にこれほど合致する審

査員は他にいないだろう。

3. 審査結果と表彰式

総合1位に選ばれたポスターを紹介いたします。カラー版、他の入賞者のポスター、審査の様子、審査員のコメント等はポスターコンテスト公式ホームページをご覧ください。

(1) K～5年生部門 1位

Waiakea 小学校 4年生 Serena Usuda さん



審査員のコメント（抜粋）：ハワイのカヌー、天文台、惑星、星座を正確に描いている。色使いも、カラカウア大王のタッチも良い。

(2) 6～8年生部門 1位

Konawaena 中学校 6年生

Victoria Birrenbach さん



審査員のコメント（抜粋）：フラダンサーが美

しく描かれている。星と砂を組み合わせたバランスも良い。

(3) 9～12年生部門 1位（2名）

Waiakea 高校 11年生 Kyra Blue さん



Waiakea 高校 10年生 Kadi Igawa さん



審査員のコメント（抜粋）：この二つのポスターに優劣をつけるのは非常に難しい。どちらも上手に描かれていて、色づけの技術も高い。望遠鏡の描写も正確で想像力豊かな組み合わせも素晴らしい。ハワイ島を星座になぞらえたもの（上）、古代カヌーに乗った男の子と現

代の望遠鏡をのぞいている女の子が同じ天体を見ているもの（下）、どちらが1位でもおかしくない。

入賞者への通知と表彰式の案内は、委員長から行いました。電話をすると保護者の方々がとても喜んで下さり、島の反対側のコナからも来ていただけるという快い返事をいただきました。結局、ヒロの小学生一人を除いた全員が表彰式に参加してくれました。特に印象深かったのは、最年少で入賞した北地区1位、Waimea 小学校2年生の Maya ちゃんです。電話で「1位になったよ、おめでとう。」と伝え、保護者の方に代わってもらった後も、大声で喜び叫んでいる声が聞こえてきました。そして表彰式の後、お礼のカードをいただきました。

もう一人印象に残っているのは、総合1位になった Konawaena 中学校6年生の Victoria さんです。彼女だけ西地区から総合1位に選ばれました。（他の1位は東地区から。）当日までは誰が総合1位、2位になったかをあえて知らせておらず、表彰式でのサプライズにとっておきました。Victoria さんは式の後、「わざわざ2時間半かけてヒロまで来た価値があったわ。今日は人生最高の日よ!」と、喜んでくれました。

ハワイ観測所は毎年アストロ・デーで、すばる&キッズの大きなコーナーを提供しています。今年はそこで入賞者のポスターを展示しました。早く到着し、すばる&キッズコーナーのポスター展示の前で写真を撮る入賞者が次々とやって来ました。中にはレイ（花や植物、ナッツ等で作ったハワイの首飾り）をつけている子、花束や“Congratulations!”と書かれたバルーンを持っている子もいて、家族・親戚の方も喜んで下さっているのだな、と思うと、とても嬉しい気持ちになりました。

表彰式では、名札とまたたく星のレイをつ

けた入賞者が壇上に上がり、一人一人表彰状を受け取りました。賞品として KTA からの寄付による商品券、マウナケアブランド・天文学トレーディングカードのほか、すばるポスターカードや CFHT カレンダーなど、各天文台グッズを進呈しました。総合1位の賞品として、KTA から商品券、ヒロのイミロア天文センターとコナ空港構内のオニヅカ・スペース・センターから無料年間ファミリーパス、マウナケア中腹のオニヅカ・ビジター・センターからは Night Sky モノポリーを寄付していただきました。

表彰式の後すばる&キッズコーナーに移動し、ポスターの前で写真を撮りました。入賞者とその家族がこの日のことを忘れず、今後長期にわたって天文学と天文台群に興味を持ち続けてくれることを祈っています。



図1 ポスター展示の前にて、入賞者、コンテスト実行委員会メンバーの集合写真

4. コンテストを振り返って

実行委員長として、MKOOCの一員として一番の収穫は、地元のビジネスリーダーである KTA とよい関係を築けたことかもしれません。KTA は毎年秋に独自のコンテストを主催していますが、「今年のコンテストは何か IYA にちなんだテーマにしようかな〜」と言って下さいました。天文関係の実行委員メン

バーも、それぞれ喜んで審査等を引き受けて下さり、みんなで楽しく企画をすすめることができました。更に、入賞者とその家族にもとても喜んでいただけて、企画者も入賞者も共にハッピーになることができました。

一方、課題も残りました。応募数の差が地区によって大きく開きました。差は予想以上の大きいものでした。ヒロでは毎年 2 月に *Journey through the Universe* [5] という、学校訪問・先生講習会・家族向けイベントを行う週間があります。出前授業や先生講習会時に、実行委員会のみんなで機会あるごとに宣伝しました。その甲斐あってか、ヒロを含む東地区では北・西地区をあわせた数の倍以上の応募がありました。委員長からハワイ島全ての学校にポスターコンテストの案内を送ったり、KTA にお願いして、レジにコンテストの案内をはってもらったり、広告に案内を掲載してもらったりしたのですが、直接宣伝するのに比べて効果が薄かったようです。今後同じようなコンテストを再び行うかどうかは不明ですが、北・西地区にどう宣伝するかが課題です。

部門によっても応募数に差がでました。K～5 年生部門はポスター描きに興味を持ってくれる上、学年数も多いため、沢山の応募がありました。中には授業中に担任の先生が描かせて下さったのか、クラスみんなで応募してくれたところもありました。その一方で中学生、高校生の応募数を増やすにはどうすればよいかも、今後の課題となりました。

5. 今後の予定

コンテスト自体はこれで終わりですが、せっかく集まった素材を活用しない手はありません。入賞者のポスターを使って学校の 2009 年度 (2009 年 8 月～2010 年 5 月) カレンダーを作り、学校や入賞者に配る予定です。カ

レンダーにはもちろん、MKOOC 主催のイベントも記載します。著者が責任者をひきうけている別の MKOOC イベント、10 月 24 日に開催される山麓施設合同公開日用のポスターやスタッフ T シャツに、入賞者のデザインを使ったり、イベントにあわせてイミロア天文センターでポスターを展示することを考えています。イミロアに限らず、オニヅカ・スペース・センターや KTA の複数の店で展示していただけないか、計画中です。

Cosmic Poster Contest 公式サイト

<http://www.naoj.org/IYA/Poster/>

文 献・サイト

[1] <http://mkooc.org>

ハワイでの IYA イベント一覧もご覧下さい。

[2] <http://galaxygarden.net>

[3] ジョン・ロンバーク (2009) 「ギャラクシー・ガーデン」(臼田・佐藤 功美子訳), 月刊星ナビ 2 月号, (株) アストロアーツ, p26

[4] <http://jonlomborg.com>

[5] <http://www.gemini.edu/Journey>

臼田・佐藤 功美子